

としょかん だより

2025. 10 NO.246

穴栗市立図書館

〒671-2576
穴栗市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620
FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



市内巡回展示

ようこそ！



手話言語の世界へ

穴栗市立図書館 展示期間

10/15(水)

– 10/30(木)



「穴栗市みんなの心つなぐ手話言語条例」が制定されて10年になります。この条例は、手話は言語であるという認識に基づき、手話を使って安心して暮らせる穴栗市をめざして制定されました。

制定10周年の機会に、市内の図書館・図書室では聴覚障がいについて書かれた本や手話の入門書などを巡回展示しています。

入門書

- 『いちばんやさしい手話』
南瑠霞 著 (永岡書店)
- 『親子で学ぼう！もっとおぼえたい手話』
齋藤陽道 イラスト (メイニバー・ユニバーサルデザイン)
- 『手話を学ぶ人のために』
本名信行 著 (全日本ろうあ連盟)

ルポルタージュ ほか

- 『ろう者の祈り
心の声に気付いてほしい』
中島隆 著 (朝日新聞出版)
- 『音のない世界と
音のある世界をつなぐ』
松森果林 著 (岩波書店)
- 『「コード」のぼくが見る世界』
五十嵐大 著 (紀伊國屋書店)
- 『障害をしゃべろう！(上・下)』
里見喜久夫 インタビュー・構成
(青土社)

小説

- 『オリオンは静かに詠う』
村崎なぎこ 著 (小学館)
- 『デフ・ヴォイス』
丸山正樹 著 (文藝春秋)



ほかにもたくさん本を展示しています。
貸出できますので、ぜひ手にとってご覧ください。

◆展示場所・期間◆

ちくさ図書館 : 9月2日～9月14日 **終了**

いちのぴあ図書室 : 9月16日～9月29日 **終了**

はがてらす図書室 : 10月1日～10月12日

穴栗市立図書館 : 10月15日～10月30日

こんな本あります

『モナのまなざし』

52の名作から学ぶ人生を豊かに生きるための西洋美術講座』

トマ・シュレセル 著 清水玲奈 訳
(ダイヤモンド社 2025年刊)

この本は西洋美術の案内書であり、十歳の女の子の成長を描いた物語でもあります。初心者にとって美術の解説書は敷居が高くなりがちですが、登場人物をとおして体感することで読み進めやすくなっています。また、登場人物の心情と作品を共鳴させることで、表面的な解説だけでなく、隠された意図なども感じとることができます。

突然、モナは目が見えなくなりました。ところが、病院に向かう車の中で何の前触れもなく元どおり見えるようになりました。病院で精密検査を受けても異常は見つからず、今後失明する可能性があるのかどうかも判断できませんでした。眼科で継続的に診察と検査を受けることになり、さらに児童精神科の受診を勧められました。

仕事がある両親に代わって、毎週水曜日に精神科に連れていくことになったのは祖父のアンリでした。ところが、祖父がモナを連れて行ったのはルーヴル美術館でした。もしもモナの目が見えなくなるのなら、その前に美しいものを見せておきたいと思ったのです。

祖父は毎回ひとつだけ作品を選び、必要なだけじっくりと見るように促しました。そして、作者や時代背景、作品に描かれたモチーフについて話しました。最初は教わるばかりのモナでしたが、回を重ねるうちに自ら読みとり、理解できるようになっていきました。オルセー美術館、ポンピドゥーセンターと場所を移しながら、ふたりの美術講座は深みを増していきました。

紹介されている作品52点が、巻頭にカラーで載せられています。文章で書かれた作品の紹介を読みながら、この図版を見てみると、ただ眺めていただけでは気づけなかった細部まで味わうことができます。モナがひとつひとつの作品にたっぷり時間をかけたように、じっくりと読み進めたい美術書です。

子どもの本 77

「ボビーとそらいろのヨット」
マーガレット・バーディック さく
わたなべ しげお やく
(童話館出版)

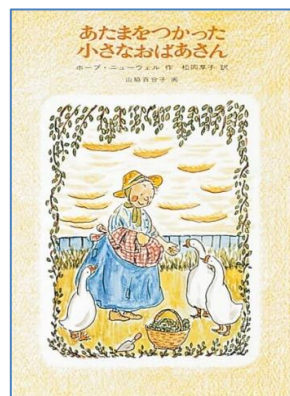
カワウソのボビーはお店でヨットの模型を見つけました。「いいものところかんします」と書かれています。「すてきなヨットと交換できる、いいものってなんだろう？」ボビーは考えました。ボビーはきれいな落ち葉を拾い、おいしい二つの枝を集めました。川底の小石は宝石のようです。けれども、落ち葉は冬には茶色になり、枝は食べればなくなりません。小石も乾くとただの石ころです。ヨットのように、いつまでも楽しめるものは見つけれませんでしたが、あくる朝、ボビーは飛び起きると、絵の具箱と画用紙を出してききました。そして、落ち葉や小枝、光る小石など美しいものがたくさんある森の絵を描きました。ヨットを手に入れるために駆け回るボビーが、あたたかな筆づかいで描かれていきます。読んでもらえば、四歳くらいから楽しめます。

ボビーとそらいろのヨット



小さな家に住んでいるおばあさんは貧乏でしたが、頭をつかうことにかけては大した人物でした。おばあさんは穴だらけの毛布しか持っていないのでした。冬までに羽根ぶとんが欲しいのですが、お金が足りませんでした。かわりにガチョウを十二羽買いました。育てて、その羽根でふとんをつくるためです。寒くなってきました。ふとんが必要になりましたが、羽根をむしると、ガチョウたちが寒くなります。おばあさんは頭をつかうことにしました。まず、濡れタオルで頭をしばります。それから、人差し指を鼻の横にあてて、目をつぶります。こうすると、いい考えが浮かぶのです。そして、おばあさんは毛布でガチョウたちの上着をつくりました。おばあさんの大らかな思いつきが、五歳くらいのおはなしが九編。読んでもらえば、楽しめます。

「あたまをつかった小さなおばあさん」
ホープ・ニューウェル 作
松岡 享子 訳
山脇 百合子 画 (福音館書店)



新 着 図 書 紹 介

◆このリストは直近 1 か月に入った本の一部です◆

書 名	著 者	出版社	ジャンル
見えない壁 北方四島の記憶	本間 浩昭	KADOKAWA	歴 史
ロバのクサツネと歩く日本	高田 晃太郎	河出書房新社	紀 行
最後の山	石川 直樹	新潮社	紀 行
相談するってむずかしい	青山ゆみこ,細川貂々	集英社	社会福祉
親の習慣 100 子どもの自己肯定感がどんどんあがる！	親野智可等, くぼあやこ	グラフィック社	家庭教育
江戸でバイトやってみた。寛政期編	櫻庭由紀子,くろしまあきら	技術評論社	習 俗
墓じまい 何をすればいいのか、教えてください！	吉川 美津子	WAVE 出版	墓
日本のすごい祭り 残したい！知られざる祭礼・行事の数々	—————	イカロス出版	祭 り
人と人とのにんまりする話 語り聞かせたい日本の昔ばなし	小澤昔ばなし研究所 編	岩波書店	民 話
変形性膝関節症の治し方がよくわかる本	渡邊 敏文	法研	医 学
発明で食っていく方法、全部書いた。	小川 コータ	家の光協会	発 明
住まいの昭和図鑑 昭和レトロ住宅のゆたかな暮らし	小泉和子, 小野吉彦	エクスナレッジ	住宅建築
ダーニング刺繍の小さなぬいぐるみ	ミムラ トモミ	誠文堂新光社	刺しゅう
食物繊維たっぷりおかず 腸から元気になる健康レシピ	荻野 恭子	池田書店	料 理
がんばらないずばら菓子	土屋 タダヒロ	淡交社	菓 子
見てすぐできる！図解 60 歳からの「紙モノ」整理	渡部 亜矢	青春出版社	収 納
使い切れない農地もっと活用読本(続) 小さくはじめる、楽しく稼ぐ	農山漁村文化協会 編	農山漁村文化協会	農 地
親にスマホをもっと使ってもらおう本 家族みんなが楽になる！	増田 由紀	日経 BP	スマートフォン
師匠はつらいよ(2)	杉本 昌隆	文藝春秋	将 棋
夏井いつきの「凡人俳句」からの脱出	夏井 いつき	NHK 出版	俳 句
宮部みゆきのおすすめ本 2020-2024 in 本よみうり堂	宮部 みゆき	中央公論新社	新 書
どら蔵	朝井 まかて	講談社	日本小説
最後のあいさつ	阿津川 辰海	光文社	日本小説
追憶の鑑定人 シリーズ(3)	岩井 圭也	KADOKAWA	日本小説
つないだ手 沢田美喜物語	植松 三十里	PHP研究所	日本小説
リクと暮らせば レンタル番犬物語	大崎 梢	双葉社	日本小説
あなたが僕の父	小野寺 史宜	双葉社	日本小説
酒亭 DARKNESS(しゅていダークネス)	恩田 陸	文藝春秋	日本小説
天下の値段 享保のデリバティブ	門井 慶喜	文藝春秋	日本小説
大日の使徒	川越 宗一	PHP研究所	日本小説
浮世女房洒落日記(うきよにようぼうしゃれにつき)	木内 昇	中央公論新社	日本小説
森羅記(1)	北方 謙三	集英社	日本小説
名探偵にさよならを シリーズ(3)	小西 マサテル	宝島社	日本小説
佐伯警部の推理 道警・函館方面本部	佐々木 譲	角川春樹事務所	日本小説
永遠猫の祝福	清水 晴木	実業之日本社	日本小説
英雄の輪 宝島(2)	真藤 順文	講談社	日本小説
天馬の子	高瀬 乃一	KADOKAWA	日本小説
飛博(とばく)	楡 周平	祥伝社	日本小説
殺し屋の営業術	野宮 有	講談社	日本小説
まろ丸伊勢参り	畠中 恵	KADOKAWA	日本小説
さらば！店長がバカすぎて	早見 和真	角川春樹事務所	日本小説
百年の時効	伏尾 美紀	幻冬舎	日本小説
春の星と一緒に	藤岡 陽子	小学館	日本小説
イノセンス	誉田 哲也	幻冬舎	日本小説
激しく煌めく短い命	綿矢 りさ	文藝春秋	日本小説
文学は何の役に立つのか？	平野 啓一郎	岩波書店	エッセイ
涙の箱	ハン ガン	評論社	外国小説
四維街(しいがい)一号に暮らす五人	楊 双子	中央公論新社	外国小説

お願い

ページを折ったり、破ったりしないよう注意してください。
しおりが必要な方には、貸出カウンターでおわたししています。
本の修理が必要な時はお知らせください。専用のテープとのりで職員が修理します。

読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時 10月11日（第2土曜日）
14時～15時30分

作品『青姫』

朝井まかて 著

★次回の作品

『風奔る』春名久雄 著

えほん・おはなしのじかん

4歳以上の子どもが対象です。

えほん 10月4日（第1土曜日）

18日（第3土曜日）

おはなし 11日（第2土曜日）

25日（第4土曜日）

10時30分からはじまります。

事前申込は不要です。

当日カウンターで受付をしてください。

★こんな絵本を読みます★



『おばけのジョージ』

ロバート・ブライト さく・え

光吉夏弥 やく

（福音館書店）



『かえるのいえさがし』

石井桃子・川野雅代 さく

中谷千代子 え

（福音館書店）

移動図書館ささゆり号運行予定

巡回場所	10月	11月	貸出時間
山崎町内	21日（火）	18日（火）	10時40分～14時
一宮町（学校・こども園）	3日（金）	7日（金）	9時25分～15時25分
一宮町内	18日（土）	15日（土）	10時00分～15時
波賀町（学校・幼稚園）	1日（水）	5日（水）	10時30分～16時
波賀町内	25日（土）	22日（土）	10時30分～15時30分
千種町内	15日（水）	19日（水）	11時00分～13時35分

本のリクエストも受け付けています



巡回形式のため時間によって貸出場所が変わります。

場所・時間に変更になることがあります。詳しくはお問合せください。

しーたん通信でもお知らせしています。



図書館カレンダー



10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

×休館：月曜日・祝日・年末年始
（月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館）

△閉館：月末館内整理

（末日が日曜日や休館のときは、翌月初め）

開館時間：

9時30分～17時30分

（金曜日のみ18時30分まで）